



2025 年 1 月

- [今回のリリースでの新機能](#) (1 ページ)
- [このリリースでの変更点](#) (1 ページ)
- [問題](#) (2 ページ)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

Partner Firehose API の機能拡張

Firehose API が更新され、LOCATION_CHANGE イベントで差分変更のみを送信することで、アプリケーションのアクティベーション ワークフローが最適化されました。

更新には次のものが含まれます。

- **ChangeType : REMOVE** : 以前にアクティブ化されていて、現在のアクティベーションには含まれなくなったすべての場所送信されます。
- **ChangeType : ADD** : 以前にアクティブ化されておらず、新たにアクティブ化されたすべての場所送信されます。

また、**App Activation** イベントと **Health API** の両方が拡張され、次の新しいパラメータが追加されました。

- **appId** : アプリケーションの識別子。
- **region** : アプリケーションに関連付けられている地域。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwn94369	検出と位置特定からホームページに返されたすべての /api/v1 コールでステータスコード 431 が通知される。
CSCwn92373	アカウントライセンスタイプが「EXTEND_MERAKI」の場合、すべての場所で [Location Analytics] ドロップダウンが無効になる。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。